

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第192号 2020年5月号

だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



*** ベッコウトンボ調査会を行いました ***



4月19日(日)と29日(水)にベッコウトンボの^{こたいすうちょうさかい}個体数調査会が行われました。今まで31年間にわたり続けられてきた調査です。今年、^{かんせんかくだいぼうし}新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般の方の参加は遠慮していただき、^{いわいさとやまのみちの}岩井里山の会と野路会により行われました。

6グループに分かれて沼周辺を^{しゅうへん いっせい}一斉に調査したところ、19日には23頭、29日には18頭のベッコウトンボが確認されました。会の皆さんは昨年(1回目: 63頭、2回目 102頭)に比べて^{きわ}極めて頭数が少なかったことを大変^{きく}危惧されていました。会の方によると「4月になってから^{ふゆがた きあつはいち}冬型の気圧配置が続いて気温が低かったり、北西の^{きせつふう}季節風の強い日が続いたりしたのもその原因の一つかもしれないが、来年に向けて^{たいさく}対策を考えなければいけない。」とのことでした。この日は、ヨツボシトンボやシオカラトンボ、クロスジギンヤンマ、ショウジョウトンボなども見つけることができました。なお、^{とうすう}頭数はその日に^{かくにん}確認された数で今年度^{うか}羽化した^{そうすう}総数ではありません。



成熟したベッコウトンボ ^{おす}♂



ヨツボシトンボ♂

おげやぬましゅうへん み
*** 桶ヶ谷沼周辺で観られる植物 ***

桶ヶ谷沼や観察路で観られる植物を紹介します。



「キンラン」は山や丘陵の林の中に生えるラン科の多年草で、4月から6月ごろに高さ30cm～70cmの茎の先端に1cm程度の明るく鮮やかな黄色い花をつけます。ラン科の植物は栄養分を菌類に依存していますが、キンランはその依存の度合いが極めて高いため、自宅で栽培しようとしても枯れてしまいます。探らないでください。
【出典：ウィキペディア】

「ヤマツツジ」は林の中に生えていて、4月から6月ごろにかけて朱色やピンクの花を咲かせます。ヤマツツジの葉には春葉と夏葉があり、春につき秋に落ちる葉を春葉、夏から秋にかけてつき冬になっても落ちずに越冬する葉を夏葉と言います。春葉は2cmから5cm、夏葉は1cmから2cmと大きさが違います。

【出典：みんなの花図鑑】



「キショウブ」は桶ヶ谷沼や鶴ヶ池の岸に近いところにたくさん生えていて、5月から6月にかけて黄色の花を咲かせます。西アジアやヨーロッパが原産で観賞用に明治ごろから栽培されていましたが、現在は日本全国の水辺や湿地で野生化してしまいました。生育範囲が拡大し生態系に与える影響が高いため「要注意外来生物」に指定されています。

【出典：ウィキペディア】

*他にも、カキツバタやスイレンの花も咲き始めました。

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施している「調査会」や「観察会」等のイベントの開催については未定です。感染拡大がおさまり実施できるめどがつかましたら、「桶ヶ谷沼ビジターセンターだより」や「ホームページ」でお知らせします。それまでお待ちください。